

授業 科目名	【G】 【H】 【I】	刑法(総論) I 刑法(総論) I 刑法(総論) I	区 分 選 択 必 修	開講年次	【G】2 【H】2 【I】2	単位数	【G】2 【H】2 【I】2	
科目区分	専門科目							
授業形態	対面開講							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	どのような場合に犯罪が成立するか?どのように刑罰が適用されるか?			担当者	今井 康介			
授業概要	【 概 要 】	刑法は、犯罪と刑罰について定めた法律です。刑法の講義は、総論と各論から構成され、総論では「どのような場合に犯罪が成立(不成立)となるか」を、各論では「どのような行為が犯罪か」を学びます。本講義では、刑法総論の前半部分を扱います。具体的には、刑法の基礎理論、構成要件該当性、違法性について検討を加えます。						
	【 到 達 目 標 】	目標は、犯罪の一般的成立要件を把握し、事案がどのように評価されるべきか、考えられる争点の評価を行いながら結論を導く能力を身につけることです。						
履修条件	2026年度後期開講の刑法(総論)ⅡB(担当:今井)を同時履修すること。刑法(総論)ⅡBを履修しない場合、本講義は履修できません。							
アクティブラーニングの方法	【 - 】	事前学習型	【 - 】	反転授業	【 - 】	調査学習	【 - 】	フィールドワーク
	【 - 】	双方向アンケート	【 - 】	グループワーク	【 - 】	対話・議論型授業	【 - 】	ロールプレイ
	【 - 】	プレゼンテーション	【 - 】	模擬授業	【 - 】	PBL	【 - 】	その他
ディプロマ・ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	◎ (よく当てはまる)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	- (当てはまらない)						
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	- (当てはまらない)						
他科目との 関	刑法概論の単位修得済みであること。刑法(各論)Ⅰ・Ⅱの同時履修が望ましく、本講義(および刑法(総論)Ⅱ)受講後、刑事訴訟法Ⅰ・Ⅱ、情報法Ⅰ、特殊講義(特別刑法Ⅰ・Ⅱ)、特殊講義(刑事政策)を履修することを希望する。							
教科書	小池信太郎=嶋矢貴之=杉本一敏=和田俊憲『刑法総論』(有斐閣、2026年発売予定)							
参考書	初回の講義で説明します。							
評価方法	講義内で行う試験で評価を行います(100%)。							
フィードバック 方法	試験の結果、解答については、個別にフィードバックを行います。							
評価基準	試験の結果、講義内容を十分に理解したと評価出来る者には、「S」または「A」を与えます。単元の内容についての理解や表現に不適切な点がある者はその程度に応じて「B」または「C」とし、単元の内容についての理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とします。なお、試験不受験、課題未提出など、評価不能の場合には「F」とします。							

授業 科目名	【G】	刑法（総論）I	区 分	開講年次	【G】2	単位数	【G】2
	【H】	刑法（総論）I			【H】2		【H】2
	【I】	刑法（総論）I			【I】2		【I】2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス: 刑法とは何か、なぜ刑法を学ぶのか、成績評価方法						
	予習:	なし	復習:	犯罪と刑罰を学ぶ意義			
2	基礎理論編①: 刑法の歴史、刑法の機能						
	予習:	刑法とはどのような法か?	復習:	明治時代以降における欧州から刑法の継受、刑法の役割			
3	基礎理論編②: 罪刑法定主義						
	予習:	独裁国家の刑法と民主主義国家の刑法は同じか?	復習:	罪刑法定主義の派生原理			
4	基礎理論編③: 刑法の時間的・場所的適用範囲						
	予習:	日本で、外国のオンライン賭博をした場合、日本の刑法で処罰されるか?	復習:	国内犯、国外犯に関する規定、遍在説			
5	基礎理論編④: 学派の争い、刑法改正運動						
	予習:	学派の争いとは何か? 日本ではどのような人物が争いを主導したか?	復習:	改正刑法草案			
6	構成要件論①: 犯罪論体系と構成要件論						
	予習:	構成要件とは何か?	復習:	構成要件論が刑法学において果たした役割			
7	構成要件論②: 行為と結果						
	予習:	作為と不作為の違いは何か?	復習:	保障人的地位、継続犯や状態犯を区別する意義			
8	構成要件論③: 条件関係論						
	予習:	条件関係説とは何か?	復習:	択一的競合事例の処理			
9	構成要件論④: 相当因果関係と危険の現実化						
	予習:	相当因果関係説とは何か?	復習:	相当因果関係論の危機、危険の現実化とは何か			
10	構成要件論⑤: 故意論						
	予習:	故意とは何か?	復習:	事実の錯誤、具体的事実の錯誤、抽象的事実の錯誤の処理			
11	構成要件論⑥: 過失犯論						
	予習:	危惧感説とは何か?	復習:	新旧過失犯論争			
12	違法論①: 違法性阻却の一般原理、同意論						
	予習:	警察官の逮捕行為は、なぜ適法か?	復習:	優越的利益原理、法益関係的錯誤説			
13	違法論②: 正当防衛論						
	予習:	法確証の利益説とは?	復習:	過剰防衛、誤想過剰防衛の処理			
14	違法論③: 緊急避難論、安楽死・尊厳死						
	予習:	東海大学安楽死事件とは?	復習:	緊急避難の法的性格、安楽死が許される要件			
15	総復習						
	予習:	質問事項をまとめてくる	復習:	前期の小テストを踏まえて総復習			
その他	学修に際しては、教科書、六法（最新版）を参照して下さい。毎回、レジュメを配信します。予習・復習には、各120分程度かかるものと思われます。 ※G・Hカリ:【選択必修(D)】						